



日和佐浦の平家伝説と ヘイケヅカ（平家塚）

おおすぎ ようこ
大杉 洋子（友の会会員）

みなみちようひわさうらには、6軒ほど屋敷神（家族や同族を単位として屋敷地内に祀られる祠）を祀っている家があります。その屋敷神は、実はヘイケヅカ（平家塚）と呼ばれるもので、いわゆる平家にまつわるものと言われてきました。しかし、世代が代わり家主が移り変わってくる中で、その由来や伝説はあまり知られなくなり、現在は「古くからある屋敷神」との認識に変わってきています。あるいは、日和佐浦には空き家となった家も多く、祀られないまま放置される屋敷神やすでに取り壊された屋敷神もあります。



写真①



写真②

日和佐浦の平家伝説

日和佐浦には、次のような平家伝説があります。

平安時代末期、源平の戦いに敗れた平氏一門が大浜海岸から日和佐に上陸してきました。やがて、海から上陸した平家一門は追っ手に追われ、海岸からさらに山手の方へと逃げ延びて行きました。その途中、日和佐の集落の中を通過していった際に命を落とす者ができました。その死者が倒れていた場所に、供養のために建てられたのが現存するヘイケヅカであると言われています。

6柱のヘイケヅカ

日和佐浦には6カ所にヘイケヅカが現存します。写真でそれぞれ紹介します。

写真① 屋敷神として祀られていて、盆と正月に供物を供えています。

写真② 屋敷神として祀られていましたが、現在空

き家になっていて祀られなくなっています。

写真③ 屋敷神として祀られています。

写真④ 家を取り壊して更地になっているため現存しません。大正時代のはじめごろ、この家に嫁いできた若奥さんが、お産の直後に亡くなりました。「拝み屋」に見てもらったところ、家の床下にヘイケツカが埋まっているので、掘り起こして神様として祀るようにと諭されました。当時、その若奥さんの死はぞんざいに扱われてきた平家落人の祟りだと考えられたのです。それ以降、その家では屋敷神として祀っていましたが、現在は家もなくヘイケツカもなくなっています。

写真⑤ 「ワカミヤ（若宮）サン」と呼ばれ、屋敷神として祀られています。京都の伏見稲荷社ふしみなりしゃから分社したものだと言われています。

写真⑥ 屋敷神として祀られています。

ヘイケツカの現在

現在、ヘイケツカはその伝説が知られないまま、屋敷神として祀られています。ただ、この屋敷神が、



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

本家にあたる家で祀られているわけでもないし、古くからある家に伝わるものでもないようです。むしろ、その家の戸主が変わった場合には、建物や土地とともにそのまま次の戸主に引き継がれてきたものだったのです。いかにも漁師町らしい引き継がれ方です。

こうした小祠が、いつからどのように祀られてきたのかは、現在のところ知るすべはありません。やがて、伝説も忘れ去られようとしている今、ここに書き留めることができました。

アワーミュージアム No. 48「旅先で見つけたちょっといいもの」に寄せて

澤祥二朗さんが京都の聖アグネス教会と平安女学院を紹介しています。平安女学院中学校・高校の場所は日本史でも知っていてよいようです。東西に分かれた校地間の道路（烏丸通りのひとつ西の通り）が「室町通り」で、室町幕府・室町時代の室町そのものです。西側の校地の北端（下立売通り）に「旧二条城跡」の標柱と学校の建てた解説があります。

(友の会会員 石原 侑)



友の会行事報告

トコロテンづくり

- 日 時 3月11日(日) 10:30～12:00
 ○場 所 博物館実習室
 ○担 当 いそもとひろのり磯本宏紀(博物館学芸員)・まつおか いさお松岡 功(博物館普及課)
 ○参加者 13名

トコロテンの原料であるテングサは、古代から食材としての記録があり、少なくとも江戸時代には現在と同じようにトコロテンとして食べられていました。

5月に県内でテングサ漁がもっともさかんなところの一つ・むぎちやうて ぼしま牟岐町出羽島でテングサを採取し、それを使ってトコロテンを作る予定にしていたのですが、残念ながら台風で中止になったため、地元の方からいただいた物で作りました。

また、トコロテンと同時に徳島の郷土料理であるぞうすいそば米雑炊も作り、しん体の芯から温まりました。

Voic^e 参加者の声●つきじけんいちろう築地堅一郎

材料のテングサが私の故郷の産物なのでなつかしく思い参加しました。試食できたのが良かったです。ただ、テングサを煮ている時間が少し手持ちぶさたでした。友の会のメンバーの皆さんが、親切な方ばかりで安心しました。

●かわかみ さえこ川上左恵子

このたびはじめて行事に参加させていただき、誠にありがとうございました。博物館の方や友の会の皆様に優しくご指導いただき、わきあいあい和気藹々とした会場で大変楽しかったです。時間がもっとあればテングサをもう少し煮詰めることで、もっとプリッとしたのではないのでしょうか。どうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。



トコロテンの作り方を説明

●なかもら たいち中村太一

いつもお世話になっています。ありがとうございます。トコロテンはこれまで食べたことがなかったので、どんなものか知りませんでした。でも、今回の行事でとてもよくわかりました。実際に作るのもおもしろかったです。そば米ぞうすいもおいしかったです。また参加したいです。

●(無記名)

参加するのを思案していましたが、和気あいあいとした中で大根を切ったり、トコロテンを突いたりしておいしくいただきました。家でも作ってみようと思います。ありがとうございました。またこのような機会があれば参加したいと思います。



できあがったトコロテンを突きます

友の会行事報告

万年山を歩こう

- 日 時 4月29日(日) 13:30～15:30
 ○場 所 徳島市佐古山町
 ○担 当 松永友和(博物館学芸員)・松岡 功(博物館主任)
 ○参加者 18名

徳島藩の蜂須賀家墓所は、徳島市下助任町2丁目
 の興源寺と佐古山町諏訪山の万年山のふたつから
 なります。興源寺は蜂須賀家の菩提寺で、藩主の墓
 など約20基の墓石が並んでいます。一方、万年山
 墓所は、明和3年(1766)に10代藩主蜂須賀重喜
 が造営した儒葬式の墓所です。平成14年(2002)
 には、興源寺(仏葬)と万年山(儒葬)の両墓制によっ
 て祭祀が行われたことなどが評価され、国の史跡に
 指定されました。

今回の行事は、地域の歴史を身近に感じる機会に
 なればと思い、現在、整備が進められている万年山
 墓所を歩きました。当日はお天気にも恵まれ、2時
 間余りのハイキングを楽しむことができました。

※開催にあたり、佐古小学校のご厚意により駐車場をお借りし
 ました。記して厚く御礼申し上げます。



万年山登山口

Voic^e 参加者の声

●桑内 隆
くわうち たかし

蜂須賀家の墓所としては興源寺だけと思いこんで
 いましたが、今回初めて万年山を知りました。歴代
 の藩主や側室と子らが広大な山一帯に埋葬されてい
 るのが壮観でした。

藩主の系譜を見ると、他家からの養子なども多く、
 家系は連綿と続いても血筋は続くものではないこと
 がよくわかりました。

また、「史跡」という言葉は知っていましたが、
 意味は初めて勉強しました。大変お世話になりました。
 今後ともよろしくお願いします。

●津川友晴
つがわともはる

かつては崩れた石垣や荒廃した墓域で、あまり足
 を運んだことはありませんでした。今回の企画で地
 域の貴重な文化財を、より身近に感じる絶好の機会
 になりました。

巨大な墓石をどうやって山に運んだのか?など、
 歴史ロマンをかき立てられる充実した企画をありが
 とうございました。

●西條 徹
さいじょうとる

万年山墓所ハイキングは天候にも恵まれ、楽しい
 時間を過ごさせていただきました。どうもお世話に
 なりました。

関係者各位の尽力により無事に終わり感謝して
 おります。今後もウォーキング、軽登山等の企画があ
 れば参加したいと思っております。

徳島藩 11代藩主 蜂須賀治昭墓の前にて
はるあき

なかむらたいち
●中村太一

ぼくは万年山に蜂須賀家のお墓があんなにたくさんあるとは知りませんでした。なかでも13代目が徳川家の親せきだということには驚きました。しかも正室以外に側室、子どものお墓まで周りにたくさんあって、家族を大事にしていたんだなあと思いました。今回の行事で徳島藩主の歴史を知ることができてよかったです。

●(無記名)

晴天に恵まれた29日、万年山(佐古山)に参り楽しい1日でした。ありがとうございました。

万年山という言葉は何回も聞いたことがありましたが、やっと行けました。10代の重喜は知っていましたが、^{まさかつ}正勝から始まって14代まで初めて知って、いつの世も家系を守りぬくことの難しさや、子種を絶やさない為に側室が重要なことが、今の時代と違ってよくわかりました。韓国のドラマや日本の歴史ドラマもまるでウソの世界ではないのだと思い、人間の考えることは何百年たってもそう変わらないと思いました。ご苦労様でした。



平成24年度友の会総会が、4月15日(日)午後1時30分より博物館講座室にて開催されました。23年度の事業報告・決算報告ならびに24年度の事業計画・予算案について審議が行われ、承認されました。また、その後、場所を2階の部門展示室に移し、担当の磯本宏紀学芸員による部門展示「阿波の遠洋漁業」の展示解説が行われました。

今年度も、キャンプ、一泊研修と宿泊を伴う行事を2回計画しています。他にも楽しい行事をたくさん計画していますので、ふるってご参加ください。

1. 平成24年度友の会行事

(1) 万年山を歩こう(終了)

実施日: 4月29日(日)

場 所: 徳島市佐古山町

(2) チリモンをさがそう(終了)

実施日: 6月24日(日)

場 所: 博物館実習室

(3) 牛乳パックではがき作り

実施日: 7月22日(日)

場 所: 博物館実習室

(4) 川田川の水生昆虫観察

実施日: 8月11日(土)

場 所: 吉野川市川田川

(5) キャンプで自然体験

実施日: 8月18日(土)～19日(日)

場 所: 大川原キャンプ場

(6) 秋の土佐路一泊研修

実施日: 10月27日(土)～28日(日)

場 所: 室戸・高知方面

(7) 義経伝説の道ウォーク Part III

実施日: 11月4日(日)

場 所: 香川県東かがわ市～高松市

(8) ういろう・うどん作り

実施日: 1月(日は未定)

場 所: 博物館実習室

(9) 藍染め体験

実施日: 2月(日は未定)

場 所: 技の館を予定

※実施日や内容については変更することもあります。開催前月には会員の皆様に詳しいご案内をさしあげますのでご確認ください。



平成24年度友の会総会



部門展示「阿波の遠洋漁業」展示解説

2. 広報活動

博物館の広報印刷物（月別催し物案内、企画展チラシ、博物館ニュース、文化の森から等）を提供します。

3. 図録の印刷および販売

(1) 展示解説第2集「地図に見る鳥居龍蔵の足跡」の印刷・販売をします。

(2) 企画展図録「ほねほねワールド」の印刷・販売をします。

4. 友の会会報の原稿募集および発行・配布

会報「アワーミュージアム」No.49～51を発行し、配布します。

5. 会員募集

(1) 博物館企画展チラシに会員募集の広告を掲載し、新会員の獲得を目指します。

(2) 子どもの日フェスティバル、文化の森大秋祭りで友の会コーナーを設置し、友の会のPRと会員勧誘に努めます。

6. 友の会グッズの販売

クリアファイル2種（人文・自然）を販売します。

7. 平成24年度友の会役員

会長：鳥居 喬

副会長：大杉洋子・行成正昭・高島芳弘（館長）

幹事：伊勢ひとみ・澤 祥二郎・多田精介・徳野壽治・徳山 豊・松家京子

監査：石尾和仁・南部洋子

事務局長：板東敏之（副館長）

事務局員：三好康彦（自然課課長補佐）・松岡 功（人文課主任）・山田量崇（自然課学芸員）・松永友和（人文課学芸員）



新スタッフ紹介



●三好康彦（自然課課長補佐）
みよしやすひこ

このたび、三好市立三野中学校から転勤してまいりました。自宅のある三好市三野町から60kmの道のりを自家用車で毎日通っております。

博物館での役職は、自然課課長補佐です。主に博物館の普及業務を担当しています。中学校理科教師としての経験を活かして、博物館と学校を結ぶ架け橋となるよう知恵を出し合い、徳島の自然や文化に感動し、直接自然や文化から学ぶ子どもたちの育成をめざしていきたいと思っております。学校現場とは異なる全く新しい仕事に戸惑いながらも館のみなさんの温かいお言葉や、ご支援のおかげで、少しずつですが前進している気がします。

友の会の行事には、徳島県の地域に根ざした興味深いものがたくさんあります。友の会のみなさんとともに、自然や歴史・文化について楽しく学び成長できるよう事務局の一員として微力ながら努めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。



アワーミュージアム 第49号

2012年6月25日発行：徳島県立博物館友の会
〒770-8070 徳島市八万町向寺山 徳島県立博物館内
TEL 088-668-3636 FAX 088-668-7197
E-mail: mus-fukyu@mt.tokushima-ec.ed.jp